全国浴場新聞

発行所
全国公衆浴場業生活衛生同業組合連合会
東京都千代田区東神田1-10-2
TEL03(5687)2635
購読料1部100円

まごころで奉仕する
東浴信用組合

全浴連代表者会議開催

通常総会提出事項を審議
決算見込み、予算案など意見交換

写真（上）は代表者会議

全浴連は三月七日、全浴連会議室で代表者会議を開き、六月七日に行われる通常総会に提案する平成十三年度の収支予算案（一般会計、新聞会計、生命共済事業会計）などについて審議、意見を交わした。

村上全浴連常務理事が司会をつとめ高橋全浴連理事長挨拶のあと議長に小中京都府組合理事長、副議長に山本兵庫県組合理事長の両氏を選任して議事の審議が行われた。

関全浴連副理事長から平成十三年度の決算見込みについて「一般会計については「定期預金の減少をみたが、収支決算では一千万円余の剰余金が見込める。新聞会計においては広告収入で若干の減少をみたが収支決算では〇〇万円余の剰余金。また共済事業については収支決算で九五万円余の剰余金がそれぞれ見込まれる」とし、さらに平成十四年度の収支予算案について「一般会計については一千四〇〇万円余、共済事業については一千万円余の予算（案）をもってのぞみたい」と内容の概要について説明。

つづいてレジオネラ問題について高橋理事長から「東京において偶然とはいえ死亡事故が発生したことに対し責任を謙虚にうけとめ、全国組合員の方にも不安を与えたことをおわびし、さらに各県においても衛生管理徹底に一層のご努力いただきたい。地方分権の建前からこの問題の対応は基本的には各保健所でとに行われ、多少の対応にバラツキが出ると思うが、保健所とのより密接な連携のもとに対応方をお願いたい」とし、各県からレジオネラ問題についての現状などの報告と質疑が行われた。また高橋理事長から厚生労働省による総合的な学習の時間について「この件はスタートしたばかりだが、地域において支えくれる団体があるのか、また社会福祉事業については「介護保険が導入され、新しい価値を見直さなければならないし、健康的な高齢者を家から外出させることによって生きがいを見出してもらうことが必要と考えられる」とし、積極的な支援も可能と思う」と説明。このあと立成十四年度の生活衛生関係営業予算（案）（前号既報）についての説明が行われ、さらに二全国大会などのあり方について検討委員会の設置をききに了承いただいているところだが、教育問題について中島全浴連副理事長を委員長とし、それに中島全浴連常務理事。福祉入浴問題については西田全浴連副理事長を委員長とし、それに山下、村上両全浴連常務理事。組織連副理事長を委員長とし、それに小西全浴連常務理事。これら各委員会はさらに各ブロックから委員一名の参加をお願いし、その構成をもって内容の検討を進めていきたい」と提案。福祉入浴事業については「介護保険が導入され、新しい価値を見直さなければならないし、健康的な高齢者を家から外出させることによって生きがいを見出してもらうことが必要と考えられる」とし、積極的な支援も可能と思う」と説明。このあと「高橋理事長から説明があるとの説明が行われた。

このあと今後の全浴連日程（監査会＝四月二十三日（火）全浴連全国大会＝四月二十四日（水）同。通常総会＝六月七日（金）・明治記念館。理事会＝七月九日（火）・全浴連会議室。全国業者石川県大会＝十月七日（月）・金沢全日空ホテル。厚生労働大臣表彰式代表者会議を終えた。

関東甲信越ブロック会

関東甲信越ブロック会の研修会が三月二十日、全浴連会議室で開かれた。

埼玉県組合鈴木事務局長の進行で西井ブロック会長（埼玉県組合理事長）、全浴連高橋理事長挨拶のあと酒井会長を議長として議事の審議に入った。

まず報告事項として、平成十四年度の都・各県の助成措置、レジオネラ症対策の進行状況、各地域における福祉浴場の実態、公営・料金は一八〇円。個人平日のみの定期券を利用する場合は大人が五〇円ぐらいになってしまい、組合員は存亡の危機に立たされていること」と説明があり、これについて都・各県から質疑があり協議が行われたが、このケースが全国的にかかわる業界にとっては由々しき問題となる」とし、問題解決が早急に必要であるとの意見が寄せられたが、埼玉県組合は「これについての要望書を提出することになっており、その回答を見てみなさんと再度論議し協力をいただきたい」とし、これを了承。

写真（右）は関東甲信越ブロック会

つづいて代表者会議で承認された各種委員会へのブロックからの参加について協議。組織・大会については埼玉県組合、福祉入浴は新潟県組合、教育問題は千葉県組合の各理事長が委員として参加することを決定。ブロック総会については七月に神奈川県組合が主催して開催。さらに全国業者大会について報告があり、これらを了承しブロック会を終えた。

平和のありがたさ
"午年"に込める願い

友人に勧められて某大学の聴講生として参加してみた。

現役の頃には、ろくすっぽ勉強もせずに、なにをいまさらと笑うかもしれないが、単に好奇心というだけでかなく考えて参加したのである。

当日の話題は十二支で今年の"うま"にちなんでの話が中心だった。

「今年はうま年だが字半紙に書くとこうなります」

"午"。とっさに読むかウシだ。ウマとは読むまい。

年始に神社や仏閣に詣に多勢の人が押しよせるが、それらの人は"午年"に、なにを感じて詣でるのだろう。

"午"というのは正午を境に午前、午後となるが、隣りの食卓は豪華なメニューが並んでいる。

日常の生活においても、我が家の食卓は質素だが、隣りの食卓は豪華なあると講師は強調されていた。

子ども境目にある。悪しきときも良い方向に進ることもあろうし、良きときも下降線を進むこともある。物事には必ず差別があるものであり、差別があるのは当然のことで、ある程度まで汚れは落ちているものなのです。

それをそれぞれをネタきます、食卓を豪華なメニューで飾っている人も隣人の貧しい食卓をみてもさげすまず、いつか卓が逆の立場になるやもしれない。要は悪しきときれといった人種差別もなく、宗教も自由、戦争もない平和の味を満喫しているし、しかし、明日は我身ということもある。お互いにならず、たかぶらず、"午年"にちなんで己の戒を込めて昔の人は神社や仏閣に詣でたのである。

差別といえば、いまの世界情勢を見渡しても、あちこちで紛争が絶えない。そのほとんどが民族差別、宗教差別ですべて己のほうが正しく、他は"邪"と考え排除しようとするのは、人間の性と"和を以て貴とす"。

"平和ていいなぁ。"

（品川　清一）

こすりすぎ、洗いすぎがあなたの肌をだめにする

京都大学大学院医学研究科皮膚病態学教授　宮地良樹

日本人はなぜゴシゴシするのか

日本がまだ貧しかった時代には、毎日入浴や洗髪をするという人は、まれでした。たしかに長い間お風呂に入らなくても、あかがたまるとか、においがするということはあっても、すぐに病気になるわけではありません。ご存知の方も多いと思いますが、皮膚にはもともと自浄作用があるのです。しかし、皮膚には新陳代謝により、角質や皮脂、汗、常在菌代謝物などが蓄積してきます。さらに外からもほこりや汚れ、化粧品などが付着します。

自動車の排気ガスや工場のばい煙に始まる大気汚染、フロンガス使用に端を発する紫外線量の増加。有害な新建材や化学物質の多用、密室性の高い室内で発生するダニやホコリ。冷暖房による慢性的な乾燥状態。そして時代には、毎日入浴や洗髪をするという人間の自然治癒力を低下させ、それらの人間の皮膚にストレス。これら私たちを取り巻く環境の変化により、国内で作られるようになった明治時代でさえ、非常に高価で庶民には手の届かぬ存在でした。このため当時の人々は洗い粉やぬか袋、ふのり、あかすり、軽石などを使っていました。これらには石けんのような洗浄成分などはありませんから、皆ゴシゴシと体をこすってあかを落としたのです。

だれもが石けんを使えるようになったのは戦後になってからのこと。ところが現在、洗浄成分を重要な役割を果たしています。それだけでなく、皮膚のなめらかさ、かさつき、すべすべ感などを決定するのもこの角質層ですから角質層をあたかも「土」として侮ってはいけません。

たしかに古くなって必要のなくなった角質はあかとなるのですが、角質層ですぐに剥がれてしまいます。

ドライスキンの一因はこすりすぎにあり

皮膚は大きく分けて外側から、表皮、真皮、皮下組織の3つに分けられます。表皮の大部分を構成する表皮細胞（ケラチノサイト）は角化というプロセスを経て角質層となり、体の外側に殻を作った状態になっています。約20ミクロンほどで、ラップフィルムくらいの厚さですが、体の防御膜としてだけでなく、免疫学的なバリアーとしても重要な役割を果たしています。

ひところ、強く肌をこすることで新陳代謝が促され、血行がよくなったり、肌がきれいになったりすると言われて一生懸命こすったり、またそこへ塩をすりこむようなことをする人が多く見られましたが、それは皮をはがされた因幡の白ウサギと同じ。角質層のはがれた肌に刺激を与えるようなことは絶対に避けるべきです。初めに述べたように、放っておいても古い角質は約28日間で自然にはがれ落ちてしまうのです。こすりすぎると新鮮な角質まで取り去ってしまい、かえって体のためによくありません。最近急増しているドライキンの一因もここにあります。

石けんは普通のものでいい

また、抗菌グッズの流行に見られるように過度に清潔志向から、洗浄成分の強い石けんを使う人が増える傾向が見られます。つまり、清潔イコール殺菌ととらえているのですね。しかし清潔にすることと滅菌・消毒とは違うのです。薬用石けんなどをやみくもに使うのは、肌にとって大切な常在菌まで殺してしまい、かえって雑菌に対する皮膚の抵抗力を奪ってしまいます。

そこで石けんは何がよいか。皮膚の汚れは主に油性です。基本的な洗浄方法には石けんに含まれる界面活性剤で脂を浮かせて水で流すこと、それならば、普通の石けんで十分。アトピー性皮膚炎の患者さんで肌に合わないという方に限って低刺激性の石けんをすすめることがありますが、大抵は普通の石けんでOKです。そもそも、ぬるま湯に30分以上つかるだけで、ある程度まで汚れは落ちているものなのです。加えて、日本の水は軟水です。軟水は硬水に比べて石けんが泡立ちやすいという特徴があります。泡立ちのよいもの、洗浄成分の強いものに特にこだわる必要はありません。

正しい入浴法とはぬる湯にゆっくり

入浴の際には、いきなり体を洗わずに、まず浴槽につかって体全体を温めること。そうすると体の汚れが浮き上がってきます。その際にはあまり熱い湯ではゆっくりと入ることができません。入体に負担をかけずに、じわじわと温めることによって、古い角質をふやけさせて落ちやすくします。柔らかいタオルやスポンジで肌の角質層がたっぷりと水分を含んでいるため。これを逃してはなりません。放っておくと、石けんで皮脂を落とした肌は成分を完全に洗い流して、泡や、体に残った石けんの成分を完全に洗い流すことが大切です。

すりすぎは厳禁

泡立ちがよくなったら、体を洗います。その際、くれぐれも力の入れすぎ、こすりすぎには注意。まだ、石けんを体に直接こすりつけるのもよくありません。手で洗う場合には、手のひらでよく泡立てて、その泡で肌を包み込むように洗いましょう。体を洗った後には、泡や、体に残った石けんの成分を完全に洗い流すことが大切です。

とりわけ40歳を過ぎるころから、体が作り出す天然の皮脂膜はどんどん少なくなっていきます。特にその傾向が顕著なのはひざから下の部分の腰回り。顔や腕、胸ばかりでなく、とういった部分へのケアも重要です。

最近では保湿成分が含まれている入浴剤や、上がり湯に混ぜて使うローションなども出回っていますから、かぶれさえしなければ利用してもいいでしょう。いずれにしてもこすらない、洗いすぎない、放っておかない、この3つの「ない」はお風呂の鉄則です。

（東浴広報誌1-010より転載）

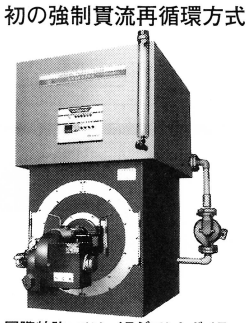
湯……濾過機
超音波
バイブラ
NITTO
設計・製造・工事・サービス
技術の日東
日東製作株式会社
東京都葛飾区金町4－4－1
電話　東京(03)3607－0800(代)

◎半自動サッシのエバト
◎特許フィルム防水カガミ
ヨゴレの少ない、
ピカピカのカガミ
株式会社 江波戸硝子産業
〒111－0056 東京都台東区小島1－4－17
TEL 03-3861-1636 FAX 03-3861-1638

萬古清風

今年の桜前線は予想したよりも10日ほど早く開花した。旅行者、観光業者をあわてさせた。

▼これは地球温暖化の影響か、南国鹿児島では、東京より10日ほど遅く開花したそうだ。桜は開花前に、寒が戻らないと開花が遅れるそうだ。今世界に異常気象をもたらす、エルニーニョ現象発生の兆しとされる。赤道付近の西風と、西太洋での季節外れの大きな熱帯性低気圧の発生を、人工衛星がとらえたと、米宇宙局が発表した。エルニーニョが発生すると世界の気象にさまざまな影響を与えるという。地球温暖化の為世界各地で大型台風の発生、大水害、大旱ばつと、さまざまな影響を受けている。▼今地球の表面は年々砂漠化し、世界人口の1/3の人達が旱ばつの為農産物が出きず（主にアフリカ大陸）空腹に耐えている、その為体力のない子供、老人達が一番の犠牲者で、一日二万人以上の人が亡くなっている。反面日本では不況の中でも海外よりの輸入により、物・飲・食は豊富である。所が日本では物の大切さがない"モノを大切にする"教育は小学生から始めるべきである。何を教えるかは単純、"モノを教える"に尽きる。大量生産・消費・廃棄で育った親が教えるのは無理がある。学校教育しかないと思う。▼今年も早咲きの桜の木の下で花見の宴、平和な日本、あまり平和ぼけにならず、これからの世界人口は益々増え続け、反面地球温暖化により、食料は世界的に不作となり、他国より輸入に頼らず特に食料等は出きるものは、自国で生産すべきである。

初の強制貫流再循環方式

国際特許マツセイラジアントボイラ
MS－200－8型
■省燃費・超小型
■貯湯タンク内蔵
■給湯と熱交の併用式
■熱交率90%以上
常に先端をゆく80年の歴史の結晶・浴場用機器専門メーカー
■インターネットホームページ開設　http://www1.odn.ne.jp/matsusei
星　浴場設備機器カタログ
松清金属株式会社
本　　社　京都府八幡市岩田六ノ坪61番地の2　TEL(075)982-0317(代)
出 張 所　札幌・青森・八戸・盛岡・新潟・仙台・金沢・東京・三重
広島・高松・福岡・熊本・鹿児島
MATSUSEI KINZOKU CO., LTD.

少年少女がお年寄りと裸の交流

鎌倉市"チョボラ隊員"が活躍

鎌倉市高齢者福祉課・社会福祉協議会は、鎌倉市デイセントーの開連事業として三月二十六日から二十九日まで、鎌倉市の浴場施設で、夏休期間にはさらに四ヵ所で少年少女チョボラ隊隊員を募集。お年寄りとお年寄りの交流の場を広げていきたい」としている。

鎌倉市の浴場組合（小野田将夫組合長）が昨年六月から実施している"デイセントー"を利用して小学校の春休期間に試験的に子供たちとお年寄りとの交流をはかろうというもの。鎌倉市の高齢者福祉課では「浴場組合さんの協力をいただいて今回のイベントが実施できたが、この結果をふまえて、夏休期間にはさらに回数を増やすなど子供たちとお年寄りの交流の場を広げていきたい」としている。

今回は三月二十六日に「清水湯」、二十七日に「ひばり湯」、二十八日、栗田湯」、二十九日「野田の湯」で、小学校の一年生から三年生まで十人前後の子供とデイセントーを利用しているお年寄りが参加し、入浴前に体操やおおきな湯舟につかったあとお年寄りの背中を流すなど、最初は遠慮気味だったが子供たちも次第にくつろぎ、お年寄りと和気合々の打ちとけムード。

参加した子供たちにちょっと聞いてみると、

「チョボラってなんだ」

「ちょっとボランティアだよ」

「ボランティアってなんだ」

「おいいちゃんやおばあちゃんを助けてやること」

正解だ。

「じゃ、おじいちゃんやおばあちゃんの背中を流してあげるんだね」

「背中を流せないよ、洗うならできるけど」

どもっともである。

どうやら"流す"という言葉の意味を知らないらしい。

「では、おじいちゃん、おばあちゃんがいる人」

「ハーイ」

二、三人の子が手をあげた。

「家に帰ったら洗ってあげてね」

「洗えないよ」

「どうして」

「山形にいるんだもん」

それでは洗ってやれないね。

子供たちのこうした無邪気な会話にお年寄りたちも大笑い。

「逆に子供に背中を流してやったよ。こういうイベントはいいね。若返るよ」と至極ご満悦。

子供たちも「背中を洗ってやったら"ありがとう"といわれてうれしかった」

こんどは夏休みだ。「また参加してくれるね」の問いに子供たちは大きくうなずいていた。

みんなの町のおふろやさんが、お年寄りと広いおふろでのんびり、ゆったり、お弁当もいっしょに食べて。お年寄りたちにも大好評のイベントだった。

セントウ紀行

埼玉県さいたま市太田窪「冨美の湯」

JR「南浦和駅」の東口から円正寺行のバスがある。バスの終点である。

タクシーで十五分くらいのところだろうか。

円正寺とあるから、さぞかし大きな立派なお寺があると思ったが、どこにもそれらしき形跡がなかっている。「元祖・軟水の湯・冨美の湯」とある。まわりに大きな建物がないのでいやでも目に入る。

ただバス停から道路沿いに大きな矢印の看板が

看板のそばまでいくと、広い敷地の一角に「冨美の湯」がある。のれんの両脇にはみごとな松が植えられ、庭園は京都にでもきたような感じだ。

のれんをくぐると下足箱の前でお客さんと立話をしている人がいる。経営者の栗原英紀さんだ。顔をみるなり「やあどうも、ここではなんだから自宅のほうで」と案内された。自宅も純和風で、あたりの静けさと相まって、のんびりと落ちつける。

「この辺は、かつては田んぼで食用蛙が鳴いていたんです。牛のような声を出してね。家内も嫁いできて、しばらくはびっくりしていましたね。円正寺などんかの寺は静かなもんでしょう。それまでは、昔は存在していたのかもしれませんが、いまでは地名になっている。町名も"二十三夜町"で、二十三夜講でもあったんではないですかね」

栗原さんは十八代目というから、代々の土地子で、地域や業界のこと、普提寺である天台宗のお寺の世話人としてやたらと忙しい毎日だ。

栗原さんは農業を学んでいたが、そのかたわら植木の仕事にも従事していた。

「いまはPRの時代。業界はPRが不足しているような気がします。存在を知ってもらわないとね。それで目立つように道路沿いの看板に"元祖"とうたって、気をテラかせようというのが狙いです。そのあたりの看板に"元祖"という文句がたくさんあり、利用客も多かったこと。

元祖・軟水の湯――純和風で温泉気分

「いまはPRの時代。ただ、そこにスーパーでもつくれば地域の発展にもなるぞ。それに現金商売だ。悪いことはないぞ」という誘いにのって銭湯経営を始めた。栗原さんが二十四歳、昭和四十一年のことである。

そして仲間のいうままにおりマーケットもつくった。

営業を始めたころは高台にアパートがたくさんあり、利用客も多かったこと。

ただ、ここ数年、ちょっと様子が変わってきた。

「ちょうど、バブルがはじけてからだ。ゴルフ場の会員権が暴落したり、ゴルフ場の経営が悪くなってきたりしてね。ゴルフ場の会員の多くは大きな風呂で緑をみながらのんびりとやすらいだ気分を求めているのだと思います。そこで、玄関脇に松を植えたり、浴槽からみる庭などに心を配りました」そこは植木屋さんをやっていたので、お手のものだ。

浴場経営にたずさわるようになった、きっかけをたずねると「植木職人の仲間が風呂屋をやっていて、きてしまったんだ。それに温泉ブームとかいわれていますが、温泉いくの

三題話（記録）

岡嶋武夫

昨日NHKのニュースで狂牛病（BSE）について、牛の誕生から販売までの経歴表のことを報道していた。

先日、証券会社の講演会で平成十三年十一月三十日から平成十四年十二月三十一日までに購入した上場株式等を平成七年から平成十九年までの三年間に譲渡した場合は、購入額の合計額が一千万円までの譲渡益は非課税となる話を聞いた。

少し前に義弟から相続で取得した居宅を売って買換えをしたが申告のことで相談したいとの電話があった。

見聞きしているときは、その事柄についてふと今日になって考えてみると、このなんにも関係されていなかったは、売却したときの利益が算出できる事項のあることに気がつく。

それは記録というものである。落語に三題話というものがある。演者が客席に向かって何でも良いから題素となり、書類が不足すれば、節角の非課税措置が受けられなくなることがある。又は、売却価額の五%を購入価額と認定されてしまう。

前の二題は、単なるニュースであったり、証券会社と取引していれば、証券会社の方で記録がある場合もあるが、三題目の不動産に

ある。

株式等の譲渡利益についても、購入した日、銘柄、数量、価額がきちんと記録されていなければ、売却し新しくなり、親と同居していなかった相続人にとっては、税務局から問合せがあっても回答ができなくなる。

居宅買換で売却益を無税にしたくても、購入相手、購入時期、金額が重要な要素となり、書類が不足すれば、節角の非課税措置が受けられなくなることがある。又は、売却価額の五%を購入価額と認定されてしまう。

ついては個人対個人の取引であるから、なかなか記録をたどるのはむつかしいものである。

購入時期、相手方は登記簿謄本で確認できるが、かんじんの購入価格は売買契約書と領収書がないとわかりにくいものである。

特に相続を受けた物件は、親の代で購入されており、相続によって権利書がなくなり、親と同居していなかった相続人にとって、旧権利書、売買契約書等は見たこともないという状態のときが多い。

通常、物を買った時の受取証、納品書等は事業用のものはともかく、家庭用のものは、いつまでも保存している方が少いと思う。

テレビ、洗濯機、パソコン等は修理のために力タログ、購入代金の領収書、販売店名等は保存しておくことが多いと思う。まして金額の一番大きな買物である土地、建物については、BSEではないが、買ったときから、処分するまでの期間の重要事項、重要書類はきちんと整理して、一つのファイルに入れて保存しておくことが大事である。

仕事上、お客さまの権利書といわれる書類を見る機会が多かったが、大事にしまっておいた権利書（表紙）と書いてある書類が抵当権の抹消書類であったり、元の持ち主の権利書であったりして、肝心の権利書の終了書類ばかり多くなるとい

のは事実であるが、何が必要な書類であるかを見極め、重要な書類はきちんと保存し、相続が起きたときでも、きちんと相続人に引継ぎたいものである。

このときに、親の考え方、整理状況、思いやり等が試されるものである。

（東浴信組常勤理事）

優秀作と入選作を紹介

石川県組合が川柳を募集

石川県組合金沢支部（大音与志雄支部長）は、昨年九月から半年間にわたって鏡湯の川柳を募集し、毎月優秀作、入選作をハガキ、インターネット、番台で発表している。昨年九月から十月の入選作はすでに本紙に掲載したが、それにつづく昨年十一月以降の入選作は次のとおりである。金沢支部では抵民文化として親しまれてきた地域社会の空間として、鏡湯の良さをこのイベントを通じ利用者増につなげたいとしている。

（平成十三年十一月）

（優秀作）

フラフレても　めげない
いつかは神田　東山・S・M

（入選作）

湯をあがり　ジュース選び に30分　寺野　T・M

鏡湯で奇遇の友と　長話し　玉川町　M・T

湯あがりの姿にひとり教練――冷え症が、うそみたい！

お茶会に呼ばれた94才の方（京都で70年間、お茶一筋）。若い女性に混じって働き、客にたいへん親しまれた。3人は三之助、三之助、六之助といずれも助がついていたことから誰ともなく3人を三助と呼んだ――」

そして、もう一つ。

「有名な光明皇后の奈良法華寺浴堂での施浴のとき、皇后のお手伝いをした女官3人がいずれも典侍（ていさけ）という役名をもっていたので、この3人を総称して三ていけと呼んだことに由来している。この典侍は高級女官である――」

何やらとってつけたような話である。つまりは三助って感べんんだよ」と無理して言っているようなもんである。

とおろが「江戸の風呂鏡湯」によるとこうも書いてある。

「三助という呼び名は常識的に考えるならば、飯炊きの下女を「おさんどん」というように三助もその程度の身分低き下男という意味ではなかったのだろうかと」だと。

常識的に、なぜとわざきに来た兄弟3人が鏡湯わざマクラを振って「身分低き下男」とはなんと茶せん女立てる。その正座のりりしい美しさ。私はお茶をのんでまずに息をのみました。昔とった杵づか――まさに、その通りでした。

（東浴荒川青年会）

風呂屋のオヤジの日々往来

湯屋の従業員は三助さんじゃないよ

星野剛

「昔、お風呂やさんでやっていた『三助さん』のことについてお聞きしたいんですが……」

電話である。年配の男性の丁ねえな口調が受話器を伝わってくる。聞けば、A区の文化財保護関係の仕事をなさっている方で、古い鏡湯の形態を調べているという。

三助さんねえ――。アタシャ三助さんの話と言われて気乗りしなかったが、ま、知ってる範囲のことはご説明申し上げたんだ。そして次のようにも申し添えた。

「三助という呼称は鏡湯にはないんです。鏡湯の男性従業員は『番頭』というのがマトモな呼び方で、三助と呼ばれることはみな嫌ったもんです。そして、番頭が客の背中を流す仕事を『流し』といいましてね……」

「そうなんですかあ」

電話の方、アタシの三助否定論とちょっと戸惑感じだったな。

◇

アタシャ「三助」なる言葉が嫌いである。おそらくアタシと同世代以上の風呂屋の人間はほとんどがアタシと同じ感情をもはいのである。世間が勝手に、それも差別的に使い出したのである。それがいつの間にか……。とにかくお聞き願おう。

この2文字に持っているんじゃないだろうか。

なぜ嫌いか。まず三助という呼び名は前述したように風呂屋の従業員の職名でもなければ職種で

◇

三助――、何とも小馬鹿にした響きでないか。震助・半助・飲助などと、助がつく呼び名はろくなものがない。この点ついてはこう書いてある。

「越後から江戸へ出稼からしても気に喰わない呼び名が三助だなんてどうもんだが、広辞苑でもこんなことを示している。

「下男の通名。後には鏡湯で風呂を焚いたり、浴客の体を洗ったりする。

「越後から江戸へ出稼ぎに来た兄弟3人が鏡湯わざマクラを振って「身分低き下男」とはなんと茶せん女立てる。その正座のりりしい美しさ。私はお茶をのんでまずに息をのみました。昔とった杵づか――まさに、その通りでした。

（東浴荒川青年会）

「平成十四年一月」

（優秀作）

ストレスを　マイナスイオンでふっとばせ　北安江2　K・M

（入選作）

つづけなく　除夜の鐘きく初陽かな　堀川町　N・Y

アフガンの子らも入れたやとのお風呂　古府南　H・T

鏡湯で　男の道を　説く男　鳥取米子　K・K

鏡湯で　先頭にする事まず洗頭　泉2　K・N

不況でも　心めくもる町の風呂　円光寺3　S・T

（同二月）

（優秀作）

ITも　参ったぞ湯ぶねのコミュニティ　金沢市山の上町　M・T

（入選作）

ケロリンを　試したいけど健康体　新潟加茂市希望ケ丘　I・Y

湯ぶねの若き娘（ニャンコ）　桜色　泉野2　A・H

鏡湯で　川柳詠んで　戦争みる　奏2　K・T

あかすりで　やせた気でいる　風呂帰り　諸江　M・M

（同十二月）

（優秀作）

鏡湯に　季節が届く　ユズ香る　北森本　S・S

（入選作）

湯上がりに　肥えたやせたと　大笑い　菊川2　M・T

父と行く　鏡湯楽し　かたぐるま　寺中　T・H

カコーンカコン　ぶつかり鳴らは　桶と床　金沢市伏見台新町　M・N

ぬるま湯の医療改革　三すくみ　金沢市堀川町　N・Y

冷えた体を　湯ぶねに浮かべ春を待つ　愛知津島市　U・O

鏡湯の　パブルは今日も　威勢よい　金沢市光ケ丘2　K・O

（入選作）

つづけなく　除夜の鐘きく初陽かな　堀川町　N・Y

アフガンの子らも入れたやとのお風呂　古府南　H・T

鏡湯で　男の道を　説く男　鳥取米子　K・K

鏡湯で　先頭にする事まず洗頭　泉2　K・N

不況でも　心めくもる町の風呂　円光寺3　S・T

（同二月）

（優秀作）

ITも　参ったぞ湯ぶねのコミュニティ　金沢市山の上町　M・T

（入選作）

ケロリンを　試したいけど健康体　新潟加茂市希望ケ丘　I・Y

湯ぶねの若き娘（ニャンコ）　桜色　泉野2　A・H

鏡湯で　川柳詠んで　戦争みる　奏2　K・T

あかすりで　やせた気でいる　風呂帰り　諸江　M・M

（同十二月）

（優秀作）

鏡湯に　季節が届く　ユズ香る　北森本　S・S

（入選作）

湯上がりに　肥えたやせたと　大笑い　菊川2　M・T

父と行く　鏡湯楽し　かたぐるま　寺中　T・H

カコーンカコン　ぶつかり鳴らは　桶と床　金沢市伏見台新町　M・N

ぬるま湯の医療改革　三すくみ　金沢市堀川町　N・Y

冷えた体を　湯ぶねに浮かべ春を待つ　愛知津島市　U・O

鏡湯の　パブルは今日も　威勢よい　金沢市光ケ丘2　K・O

入浴ボランティア（Ⅱ）

大熊タケナリ

週一回、老人ホームの風呂場に、ボランティア参加して半年が過ぎました。

お年寄りのみなさんが、とても聡明で、身綺麗なのには驚かされました。私たちの業界の先輩と同じ様に、戦災・震災を乗り越え、裸一貫から身代を築いた人が多いです。知識・経験は、とても豊富で、人生の先達という感じです。

126名の入所者ですが、主に80才代が中心で、90才代に移りつつあります。きんさん・ぎんさんの頃は、100才が珍しかったのですが、「100才のお祝いに区から100万円もらったヨ」とおっしゃる方が4名いらっしゃいます。

80才の女性ですが、冷え症で上着を10枚も着ていて、ベアを組む女子職員を、94才の女性ですが和服のため、当方着せ方が分からず…この二人、介護3で、車イス生活なのですが…共に、編物とお茶の先生だったそうです。

編物の先生は、編物サークルで指導に熱がこもり、額から汗、胸をはだけての大

からしても気に喰わないんだが、広辞苑でもこんなことを示している。

「下男の通名。後には鏡湯で風呂を焚いたり、浴客の体を洗ったりする。

「越後から江戸へ出稼ぎに来た兄弟3人が鏡湯わざマクラを振って「身分低き下男」とはなんと茶せん女立てる。その正座のりりしい美しさ。私はお茶をのんでまずに息をのみました。昔とった杵づか――まさに、その通りでした。

（東浴荒川青年会）

「平成十四年一月」

（優秀作）

ストレスを　マイナスイオンでふっとばせ　北安江2　K・M

（入選作）

つづけなく　除夜の鐘きく初陽かな　堀川町　N・Y

アフガンの子らも入れたやとのお風呂　古府南　H・T

鏡湯で　男の道を　説く男　鳥取米子　K・K

鏡湯で　先頭にする事まず洗頭　泉2　K・N

不況でも　心めくもる町の風呂　円光寺3　S・T

（同二月）

（優秀作）

ITも　参ったぞ湯ぶねのコミュニティ　金沢市山の上町　M・T

（入選作）

ケロリンを　試したいけど健康体　新潟加茂市希望ケ丘　I・Y

湯ぶねの若き娘（ニャンコ）　桜色　泉野2　A・H

鏡湯で　川柳詠んで　戦争みる　奏2　K・T

あかすりで　やせた気でいる　風呂帰り　諸江　M・M

（同十二月）

（優秀作）

鏡湯に　季節が届く　ユズ香る　北森本　S・S

（入選作）

湯上がりに　肥えたやせたと　大笑い　菊川2　M・T

父と行く　鏡湯楽し　かたぐるま　寺中　T・H

カコーンカコン　ぶつかり鳴らは　桶と床　金沢市伏見台新町　M・N

ぬるま湯の医療改革　三すくみ　金沢市堀川町　N・Y

冷えた体を　湯ぶねに浮かべ春を待つ　愛知津島市　U・O

鏡湯の　パブルは今日も　威勢よい　金沢市光ケ丘2　K・O

「国の教育ローン」のご案内　高校・大学等への入学時、在学中の費用にご利用いただけます。（海外留学費用も利用可能）

■制度の概要

▼ご融資金額
学生・生徒お1人につき200万円以内
▼お使いみち
●入学時の費用（入学金、学校納付金、受験費用等）
●在学中の費用（学校納付金、住居費用、通学費、学生の国民年金保険料）
▼返済期間
8年以内（交通遺児家庭・母子家庭の方は9年以内）
▼据置期間
在学期間以内（返済期間に含まれます。）
▼ご返済方法
毎月元利均等返済（ボーナス時増額返済も可）
▼保証
（財）教育資金融資保証基金または保証人1名以上

●ご利用いただける方
年間収入が一定額（給与所得者は1,210万円、事業所得者は990万円）以内の方で、高校、高専、短大、大学のほか専修・各種学校や予備校などへ入学・在学される方の保護者またはご本人です。

■ご相談から融資まで
☆手続きは簡単です。
お申込 ⇒ ご相談・調査 ⇒ ご融資決定 ⇒ ご契約 ⇒ ご融資

お問い合わせ・ご相談は、最寄りの国民金融公庫の支店（全国152店舗）または次の相談センターまでどうぞ。

東京　03(3270)4649（ヨロシク）
名古屋　052(211)4649
大阪　06(6536)4649

全浴連の歩み

第一期（昭和四十三年―五十三年）

公衆浴場用の燃料・重油問題

公衆浴場の燃料は、人手不足・公害規制等により、全国的に重油使用に転換しており、使用量の差があるが、全業者の八〇%が重油廃油等を使用しているのが現状である。

昭和四十八年度初め、重油は一当り八円であったのが、逐次値上り十月には一〇円となった。昭和四十八年の十月の中東産油国の輸出規制後、我が国は第一次オイルショック、いわゆる石油危機に襲われ、全産業が重大な影響をこうむった。

公衆浴場業にその波が押寄せたのは十一月であり、価格は一ℓ一五円～二六円の高値となり加えて供給事情を検討、この危機突破量の五〇%削減、または、全面停止など営業継続不可能ともなるものも各地に続出した。各都道府県組合ごとに、この危機打開のため、都道府県庁または石油業者に対し、東京において業者大会を開くべきであるとの要望が強くなった。

昭和四十八年十二月八日重事会を開催、各地の重油供給量の確保、価格の安定を陳情、中曽根通算大臣より、浴場業を優先業種として指定するなどの約束もとりつけたが、十二月に入って重油の入手がますます困難となり、この危機を乗り切るため、東京において業者大会を開くべきであるとの要望が強くなった。

昭和四十八年十二月八日重事会を開催、各地の重油獲得の宣言・決議を採択、大会の終了後陳情団を結成、厚生省、通産省へ直ちに宣言・決議をもって陳情に出発、参加者全員は、大会場の九段下より靖国通り小川町、八重洲通り、東京駅八重洲口前を経て新橋へと折衝を持ち一方営業時間の短縮・休日の増加等により営業の継続をはかった。

全浴連としては、厚生省十八年十二月二十二日東京九段会館において、「全国公衆浴場経営安定燃料獲得総決起大会」を開会、全国業者は一斉休業を決行、この大会に参加した。

全国各地からの参加者は約二、〇〇〇名会場に入りきれず場外に溢れる状況となり、業者の悲痛な訴えが続き、浴場の主燃料である